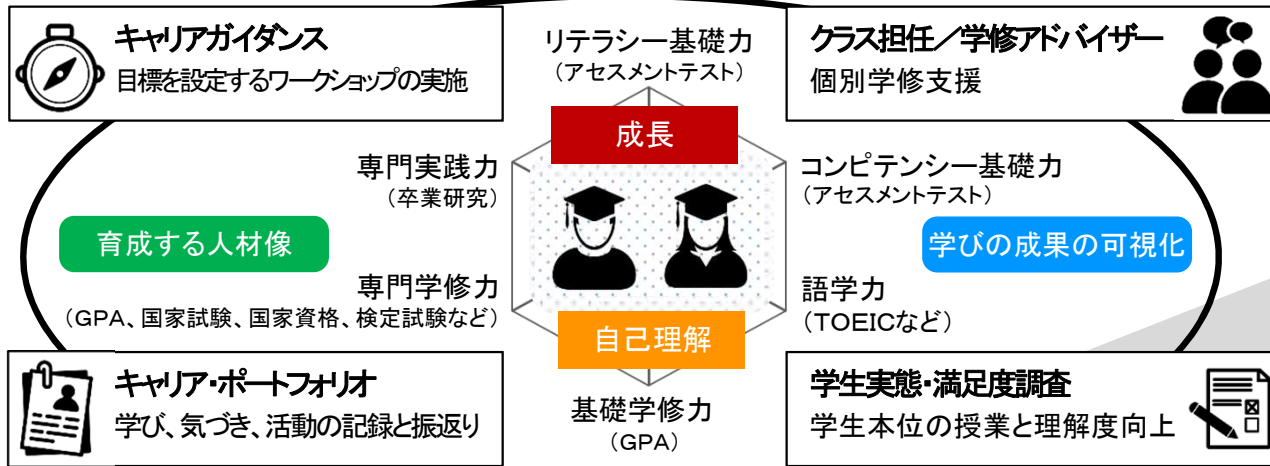


大学等名：東京都市大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

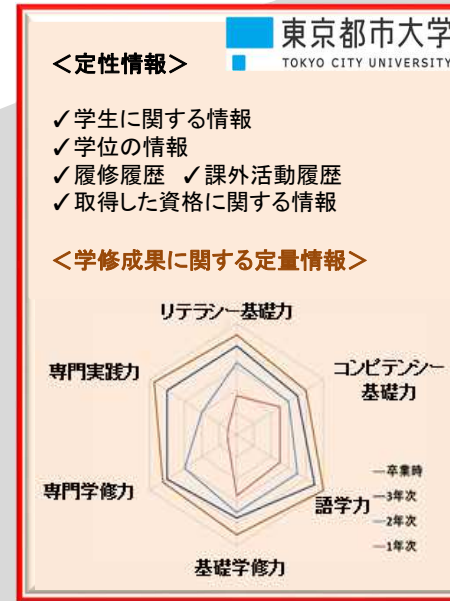
育成する人材像に基づいて体系化された、幅広い評価指標によって「ディプロマサプリメント」を開発し、卒業時に身につけた成果を客観的に社会に提示する。さらに、キャリアガイダンスでの「ディプロマサプリメント」の解説、各年次終了時での「プレ・ディプロマサプリメント」の提供、「キャリア・ポートフォリオ」の活用、個別学修支援体制の強化等を通じて学修習熟度を学生と教職員が共有し、学生自らが学びのPDCAサイクルを回す習慣を身につけることによる自己理解と成長を促していく。学びの成果の可視化を通じて、育成する人材像である『自ら学び、社会の発展に貢献する、責任感と実践力を持つ人材』の社会への輩出と、3つのポリシーに基づく大学教育改革を実現させる取組である。



プレ・ディプロマサプリメントにより、学修の習熟度を教員と学生が共有し、学生のキャリア形成と学修プログラムに生かす体制を整備

卒業時
ディプロマサプリメント

学生のキャリア形成と、社会で必要とされる能力の獲得



卒業生調査

活動実態の把握
結果の分析と教育改善

就職先等

ディプロマサプリメントの活用
人材ニーズ調査の実施と分析

外部評価

企業、官公庁、研究機関、
他大学教員、卒業生、
高校関係者等で構成

プレ・ディプロマサプリメント



1年次



2年次



3年次

【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	4.2時間	10時間	20時間	20時間
卒業生追跡調査の実施率(調査回答者数/卒業生数)	未実施	20%	25%	30%
学生の成績評価(GPAの平均)	2.35	2.40	2.50	2.75



- ◆ 卒業までの過程でどれだけの力を身につけたかを学生と教職員が客観的に把握・評価でき、さらにその成果を目に見える形で社会に示し、共有していくことが可能になる。
- ◆ ディプロマサプリメントの開発と活用を通じて、専門性の高い多様な学部で実践的に学ぶ学生と支援する教職員との連携体制を構築し、多くの大学に導入可能な連携モデルとして広く波及させることができる。